

## 無差別銃乱射事件に巻き込まれた場合の対策

パリ同時多発テロ事件を受けて

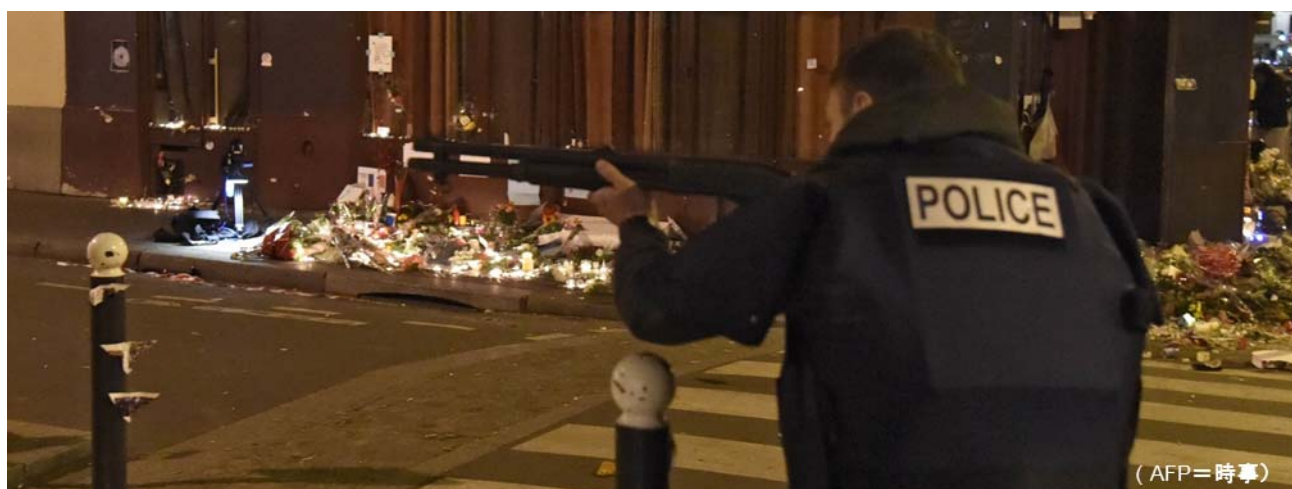
竹腰 宏 Hiroshi Takekoshi

ERM 事業部

上席コンサルタント

稲葉 八重子 Yaeko Inaba

ERM 事業部



### はじめに

フランスの首都パリで11月13日夜、サッカースタジアム、レストラン、コンサートホールなど複数の場所で銃撃や自爆、立てこもりが相次ぎ、合わせて129人が死亡、352人が負傷した。フランス史上最悪規模となったこの同時多発テロ事件は、イスラム教スンニ派の過激派組織「イスラム国 (IS)」が犯行を認める声明を出している。計画はシリア、準備はベルギーで進められたとされており、国内外にまたがる組織的な手法が世界を震撼させた。また、3人の男が立てこもったコンサートホールや、レストランのテラス席では、犯人は無差別に銃を乱射する「アクティブ・シューティング (Active Shooting)」と呼ばれる手口を用い、現場は逃げ惑う人々でパニックに陥った。

本稿では、このような無差別銃乱射事件を想定し、企業の海外駐在員やその家族、出張者などが巻き込まれた場合の対処法について述べる。

### 1. アクティブ・シューティングとは

アクティブ・シューティングとは、一般市民等を無差別に殺害する、あるいは殺害を試みる銃撃を指す。一般市民が多く集まる場所で敢行されることが多いため、企業として対応策を講じることは困難である。したがって、アクティブ・シューティングの被害に遭わないためには、現場に遭遇した個人自らが、身を守るための行動をとる必要がある。

## 2. アクティブ・シューティングから身を守る

### 2.1. 平時対応

アクティブ・シューティング事件は、平和な場所が突如として殺戮の現場となる。自分の身を守るには、こうした事件がいつ、どこで起こってもおかしくはないとの認識を持つとともに、事件の発生を早期に察知して、避難行動をとることが求められる。

そのためには、常日頃から以下のような対応を心がけ、行動することが必要である。

#### (1) 心構え

常に周囲の状況に注意を払うなど、緊張感を持つ。

#### (2) 振舞い

①自分の行動範囲について、常に避難経路や安全性を意識する。

(例)

- ・ショッピングセンターやスーパー等では、近くにある出口・非常口を確認する。
- ・レストランでは、裏口から避難できる店を選び、入店の際は、入口近くではなく、店の奥で柱や備品等の遮蔽物に近い席を選ぶ（ヨーロッパでは、テラス席や道路に面した窓側の席の人气が高いが、今回の事件の犠牲者は当該席に座っていた人が真っ先に犠牲となった）。

②早期に事件発生を察知するために、音〔銃声（爆竹のような軽い音）、人の悲鳴など〕に敏感になる。

③異常を察知したら、まずはその場で地面に伏せ、切迫した状況でないことを確認することができたら、音がする方向から離れる。

### 2.2. 有事対応① - 犯人と遭遇していない場合

アクティブ・シューティング事件に遭遇した場合、基本的には避難することを最優先し、安全に避難することができない場合には、犯人が来る可能性が低い場所に移動して籠城し事態の終息を待つ。避難および籠城の際には、それぞれ以下のようなことを心がけ、行動することが必要である。

#### (1) 避難

①何も持たずに避難する。

（警察官に犯人と間違われよう、何も持っていないことが見て分かるようにする。）

②警察官の指示に従う。

③現場の負傷者は無理に動かさない。

#### (2) 籠城

①光を出したり、音を立てたりせず、隠れていることを犯人に悟らせない。

(例)

- ・部屋の照明を消す。
- ・携帯電話をマナーモードに設定し、電話での通話は避ける。
- ・音が出るもの（テレビ、ラジオ）は電源を切る。

②犯人が籠城場所に入れない、または入りにくい状況にする。

(例)

- ・ドアの鍵を閉めたり、ドアの前に重い家具を置いたりして封鎖する。

③犯人の銃撃に備え、安全を確保する。

(例)

- ・部屋の外から銃撃されても当たらないような場所に避難する。
- ・キャビネットや机など、頑丈な物の陰に隠れる。

### 2.3. 有事対応② - 犯人に遭遇してしまった場合

犯人に遭遇してしまった場合は、犯人から逃げるのが最優先である。犯人に抵抗するのは最後の手段である。それぞれにおいて、以下のようなことを心がけ、行動する必要がある。

#### (1) 逃げる

- ①物陰に隠れながら逃げる。
- ②物陰がない場合はジグザグに走って逃げる。
- ③できるだけ銃弾を装填するタイミングを見計らう。

#### (2) 抵抗する

- ①複数人で協力して犯人に立ち向かう。
  - ②成功しやすいタイミングを見計らう。
- (例)
- ・犯人が部屋に入ってくる瞬間を狙う。
- ③犯人が銃を撃ちにくい、撃てない状態または状況に持ち込む。

(例)

- ・物を投げつける。
- ・長尺の武器（ライフル等）の銃身よりも内側の至近距離（1メートル以内）に入り込む。
- ・1人の場合は、相手に体当たりし、動きを封じる。



写真 乱射事件で壁に銃弾が撃ち込まれた跡<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 当社撮影。

## おわりに

同時多発テロ事件から 5 日後の 11 月 18 日、パリ北部では事件の主犯格の潜伏先を捜索していた警察の特殊部隊と武装グループとの間で銃撃戦が起き、現場周辺は再び緊張に包まれた。IS 支配地域への空爆が長引けば、欧米諸国では再びテロ事件が起きるリスクが高まり、今回の事件と同じくアクティブ・シューティングの手法が取られる可能性も十分ある。一方、アメリカでは毎年のように学校や公共施設で銃乱射事件が発生し、巻き込まれた多くの人が犠牲になっている。

このような状況から、無差別に攻撃される現場に居合わせた際の対処法を身に付けておくことは、決して無駄にはならない。また、企業においても、アクティブ・シューティングの手法・対処法を周知するのは、従業員の命を守る、という点でも非常に重要であるといえるだろう。

### 執筆者紹介

**竹腰 宏** Hiroshi Takekoshi

ERM 事業部

上席コンサルタント

専門は海外危機管理

**稲葉 八重子** Yaeko Inaba

ERM 事業部

専門は海外危機管理

### 損保ジャパン日本興亜リスクマネジメントについて

損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント株式会社は、損保ジャパン日本興亜グループのリスクコンサルティング会社です。全社的リスクマネジメント（ERM）、事業継続（BCM・BCP）、火災・爆発事故、自然災害、CSR・環境、セキュリティ、製造物責任（PL）、労働災害、医療・介護安全および自動車事故防止などに関するコンサルティング・サービスを提供しています。詳しくは、損保ジャパン日本興亜リスクマネジメントのウェブサイト（<http://www.sjnk-rm.co.jp/>）をご覧ください。

### 本レポートに関するお問い合わせ先

損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント株式会社

ERM 事業部

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル

TEL：03-3349-9316（直通）